

# 2017年度 人権大学講座



主催

**公益財団法人 世界人権問題研究センター**

後援

京都府・京都市・京都商工会議所・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都新聞・朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局・産経新聞社京都総局・日本経済新聞社京都支社・NHK 京都放送局・KBS 京都



公益財団法人世界人権問題研究センター シンボルマーク

全ての人間は、等しく人権を持つ…という気持ちを込めて、温かい心を示すラインとバックに地球を描き、デザインしました。

## ■ 講座日程表 / 講座内容

	月日曜	種別	時間	講座名	講師	備考
1	6月28日 (水)	開講式	13:20 ~ 13:30	センター所長 坂元 茂樹		
		シンポジウム	13:30 ~ 16:20	トランプの時代を考える ー排外主義とどう戦うかー	西崎 文子	第1部
					簗原 俊洋	
					坂元 茂樹	
薬師寺公夫						
2	7月3日 (月)	講義	14:00 ~ 15:40	性的少数者と人権	谷口 洋幸	第4部
3	7月12日 (水)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	寺社参詣とけがれ	野地 秀俊	第2部
4	7月19日 (水)	講義	14:00 ~ 15:40	学んで活かそう女性の権利	山下 泰子	第4部
5	8月1日 (火)	講義	14:00 ~ 15:40	子どもの権利条約と子どもの権利委員会	大谷美紀子	第1部
					坂元 茂樹	
6	8月29日 (火)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	京都の伝統産業と在日朝鮮人	高野 昭雄	第3部
7	9月4日 (月)	講義	14:00 ~ 15:40	部落差別の今をどう捉えるのか	廣岡 浄進	第2部
					齋藤 直子	
					妻木 進吾	
					山本 崇記	
8	9月19日 (火)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	京都五山碩学僧と対馬(朝鮮)修文職	仲尾 宏	第3部
9	9月29日 (金)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	戦前京都在住朝鮮人の福祉活動 ー向上館保育園・産院と朝鮮人留学生ー	水野 直樹	第3部
10	10月17日 (火)	講義	14:00 ~ 15:40	ワーク・ライフ・バランスと労働法の課題	植村 新	第6部
11	10月23日 (月)	ワーク ショップ	14:00 ~ 15:40	人権の参加型学習 ー「違い」の検討ー	上杉 孝實	第5部
12	10月31日 (火)	講義	14:00 ~ 15:40	企業とCSR(企業の社会的責任)	桑原 昌宏	第6部
13	11月13日 (月)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	前近代の福祉政策を考える ー被差別民の生きる権利ー	山路 興造	第2部
14	11月24日 (金)	講義	14:00 ~ 15:40	多文化共生社会と市民性教育	野崎 志帆	第5部
15	12月8日 (金)	講義 (旧ゆかり)	14:00 ~ 15:40	もう一つの中世被差別民像 ー官途名・花押・襲名ー	川嶋 将生	第2部
16	1月22日 (月)	講義	14:00 ~ 15:40	医療と人権	大谷 實	理事長
		修了式	15:40 ~ 15:50	研究センター理事長 大谷 實		

※会場：ハートピア京都(中、烏丸丸太町下ル)

# 講師プロフィール

## 上杉 孝實 (うえすぎ たかみち)

研究センター研究第5部長、京都大学名誉教授  
主要業績：『生涯学習・社会教育の歴史の展開』（松嶺社）  
『地域社会教育の展開』（松嶺社）ほか

## 大谷美紀子 (おおたに みきこ)

弁護士、国連児童の権利委員会委員  
主要業績：『夫婦別姓訴訟最高裁判決：国際人権法の視点と家族・子の利益をめぐる議論（特集 家族のあり方を改めて考える：最高裁判決から）』（学術の動向）第21巻12号、2016年）  
『子の監護をめぐる国際問題 家族の国際化と国際的対応の必要性』（『国際問題』N.607、5-16、2011年）ほか

## 川嶋 将生 (かわしま まさお)

研究センター研究員、立命館大学名誉教授  
主要業績：『中世京都文化の周縁』（思文閣出版、1992年）  
『室町文化論考－文化史のなかの公武－』（法政大学出版局、2008年）ほか

## 齋藤 直子 (さいとう なおこ)

大阪市立大学人権問題研究センター特任准教授  
主要業績：『結婚差別問題と家族』松木洋人・永田夏来編『入門 家族社会学』（新泉社、2017年）  
『結婚差別の社会学』（勁草書房、2017年）ほか

## 高野 昭雄 (たかの あきお)

研究センター研究員、大阪大谷大学准教授  
主要業績：『近代都市の形成と在日朝鮮人』（人文書院、2009年）  
『部落史研究からの発信第3巻現代編』（解放出版社、2009年）（共著）ほか

## 妻木 進吾 (つまき しんご)

龍谷大学准教授  
主要業績：『貧困・社会的排除の地域的顕現－再不安定化する都市部落』『社会学評論』（Vol.62、No.4、2012年）  
『排除される若者たち－フリーターと不平等の再生産』（解放出版社、2005年）（共著）ほか

## 西崎 文子 (にしざき ふみこ)

東京大学大学院教授、アメリカ太平洋地域研究センター所長、グローバル地域研究機構長  
主要業績：『アメリカ外交とは何か』（岩波書店、2004年）  
『戦後アメリカ外交史 第3版』（有斐閣、2017年）（共著）ほか

## 野地 秀俊 (のち ひでとし)

研究センター客員研究員、京都市歴史資料館非常勤嘱託員  
主要業績：『中世における寺社参詣と「穢」』（伊藤唯真編『日本仏教の形成と展開』（法蔵館、2002年）  
『中世後期京都における参詣の場と人』（『新しい歴史学のために』第282号、2013年）ほか

## 水野 直樹 (みずの なおき)

研究センター客員研究員、立命館大学客員教授  
主要業績：『創氏改名－日本の朝鮮支配の中で－』（岩波新書、2008年）  
『在日朝鮮人 歴史と現在』（岩波新書、2015年）（共著）ほか

## 薬師寺公夫 (やくしじ きみお)

研究センター研究第1部長、立命館大学大学院特任教授、強制失踪委員会委員、法務省出入国管理局難民参与員  
主要業績：『普遍的国際社会への法の挑戦』（信山社、2013年）（共編著）  
『国際法の実践』（信山社、2015年）ほか

## 山路 興造 (やまじ こうぞう)

研究センター研究第2部長、元京都市歴史資料館長  
主要業績：『翁の座－芸能民たちの中世』（平凡社、1990年）  
『京都 芸能と民俗の文化史』（思文閣出版、2009年）ほか

## 植村 新 (うえむら あらた)

研究センター研究員、和歌山大学准教授  
主要業績：『苦面性を欠く労使合意と労働協約－都南自動車教習所事件』（労働判例百選[第9版]巻号 別冊ジュリスト230号、2016年）  
『労働協約締結権の再構成：ドイツにおける協約能力の議論を契機として』（法律文化社、日本労働法学会誌 巻号：126号、2015年）ほか

## 大谷 實 (おおやみのる)

研究センター理事長、元学校法人同志社総長  
公益財団法人京都犯罪被害者支援センター理事長、元日本学術会議会員、元司法試験考査委員ほか  
主要業績：『刑法講義各論』（成文堂、2013年）  
『精神保健福祉法講義』（成文堂、2014年）ほか

## 桑原 昌宏 (くわはら まさひろ)

研究センター研究員、元新潟大学教授  
主要業績：『国連諸決議・人権規約における「安全な飲料水を飲む人権」と健康権』法学論集5巻（愛知学院大学同窓会、2014年）  
『国内と国連の「企業の社会的責任」：CSR・社労士の活躍を期待』（あったかサポートNPO、2014年）ほか

## 坂元 茂樹 (さかもと しげき)

研究センター所長、同志社大学教授  
主要業績：『普遍的国際社会への法の挑戦』（信山社、2013年）（共編著）  
『講座国際人権法第1～4巻』（信山社）（共編著）ほか

## 谷口 洋幸 (たにくち ひろゆき)

研究センター研究員、高岡法科大学教授  
主要業績：『性同一性障害：ジェンダー・医療・特例法』（御茶の水書房、2008年）（共著）  
『性的マイノリティ判例解説』（信山社、2011年）（編著）ほか

## 仲尾 宏 (なかお ひろし)

研究センター研究第3部長、京都造形芸術大学客員教授  
主要業績：『朝鮮通信使－江戸日本の誠信外交』（岩波新書、2007年）  
『朝鮮通信使の足跡－日朝関係史論』（明石書店、2011年）ほか

## 野崎 志帆 (のざき しほ)

研究センター研究員、甲南女子大学教授  
主要業績：平沢安政編著『人権教育と市民力－生きる力をデザインする』（解放出版社、2011年、分担執筆）『国際理解教育』から市民性教育へ－人権教育の果たす役割』松尾知明編著『多文化教育をデザインする～移民時代のモデル構築』（勁草書房、2013年、分担執筆）『第3章「学力保障」と「多様性」～新労働党政権下のイギリスの学校における多文化教育』ほか

## 廣岡 浄進 (ひろおか きよのぶ)

研究センター客員研究員、大阪観光大学准教授  
主要業績：『被差別部落の地名を言明すること－「週刊朝日」連載「ハシシタ」打ち切りをめぐる政治』『差別とアイデンティティ』（阿叻社、2013年）（共著）  
『松阪市会議員としての上田音一－総力戦体制と部落問題』『部落解放研究』（第204号、2016年）ほか

## 箕原 俊洋 (みのらはら としひろ)

神戸大学大学院教授  
主要業績：『アメリカの排日運動と日米関係－排日移民法はなぜ成立したか』（朝日新聞出版、2016年）  
『「戦争」で読む日米関係100年－日露戦争から対テロ戦争まで』（朝日新聞出版、2012）ほか

## 山下 泰子 (やました やすこ)

研究センター研究員、文京学院大学名誉教授、国連 NGO 国際女性の地位協会会長、特定非営利活動法人日本ネパール女性教育協会理事長  
主要業績：『女性差別撤廃条約と日本』（高学社、2010年）  
『ジェンダー六法』第2版（信山社、2015年）（共著）ほか

## 山本 崇記 (やまもと たかのり)

研究センター研究員、静岡大学准教授  
主要業績：『ヘイトスピーチによる被害実態調査と人間の尊厳の保障』（龍谷大学人権問題研究委員会、2016年）（共著）  
『差異の繋ぎ点－現代の差別を読み解く』（ハーベスト社、2012年）（編著）ほか

世界人権問題研究センターは、京都府・京都市・京都商工会議所の支援により、平安建都 1200 年を記念し、1996 年 12 月、文部省（現在文部科学省）の認可を受け設立。以来、アジアにおける人権問題研究の貴重な研究機関として、内外から高く評価されているところです。「国際的人権保障体制の研究」、「同和問題の研究」、「定住外国人の人権問題の研究」、「女性の人権問題の研究」、「人権教育の理論と方法の研究」、「企業と人権の研究」の 6 研究部門を設置。2012 年 4 月～公益財団法人に移行。

## 会場案内



## 講義会場

※受付：初日 午後 0 時 50 分～  
以降 午後 1 時 30 分～

### 京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

〒 604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入  
清水町 375 番地

TEL 075-222-1777 / FAX 075-222-1778

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口  
(地下鉄連絡通路にて連結)
- 京都市バス、京都バス、JR バス  
「烏丸丸太町」バス停下車 烏丸通り沿い南へ

## 申込方法

**受講料** 1 回 1,000 円 全講座一括の場合 13,000 円

※全講座を一括で申込みいただくと受講料が引きとなります。

※賛助会員は無料で受講できます。

- 受講手続き**
- 受講日前日までに、「受講申込書」(別紙)に必要事項を記入し、郵送又は FAX で申込みの上、指定の金融機関口座に受講料を振り込んでください。複数の受講希望日をまとめて申込みが出来ます。
  - 申込み及び受講料の振り込みが間に合わない場合は、当日、会場での受付も可能です。(ただし、定員を超過している場合は受講出来ません。)

・京都銀行	府庁前支店	普通	853685
・東京三菱 UFJ 銀行	京都支店	普通	1222396
・京都中央信用金庫	本店	普通	1039688

**申込先** 公益財団法人世界人権問題研究センター

〒 604-8221 京都市中京区錦小路通室町西入天神山町 290 番地 1

電話：075-231-2600 FAX：075-231-2750

E-mail jinken@kyoto.email.ne.jp

HP：http://www.mmjp.or.jp/jinken/research/index.html